平成２７年第６回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成２７年５月２６日（火）
午 後 １ 時 ３ ０ 分 開 会

開催日時	平成２７年５月２６日	開会　１時３０分 閉会　２時００分	
場　所	小金井市役所第二庁舎　８０１会議室		
出席委員	委　員　長　鮎川志津子 委員長職務代理者　福元　弘和 委　員　渡邉　恭秀	委　員　岡村理栄子 教　育　長　山本　修司	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長　川合　修 生涯学習部長　西田　剛 生涯学習課長　石原　弘一 庶務課長　河田　京子 学務課長　鈴木　剛 指導室長補佐　高橋　良友	図書館長　上石　弘美 公民館長　前島　賢 指導主事　平田　勇治 指導主事　丸山　智史 庶務係長　中島　良浩	
調　製	中島　良浩		
傍聴者人数	０名		

日程	議　　　　　　　　題	
第１		会議録署名委員の指名
第２	報　告　事　項	１　その他 ２　今後の日程
第３	議案第２９号	職員の分限処分について
第４	議案第３０号	職員の人事異動について

開会　午後１時３０分

鮎川委員長　　皆様、こんにちは。
ただいまから、平成２７年第６回小金井市教育委員会定例会を開会する。
日程第１、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、渡邉委員と岡村委員にお願いする。

（委員一同異議なく、上記２名が選出された。）

鮎川委員長　　次に、日程第２、報告事項を議題とする。
本日は特に議題がないが、その他として学校教育部から報告事項はあるか。

川合学校教育部長　　５月２１日、先週の木曜日に平成２７年第１回小金井市臨時議会が開催され、議会の人事が確定した。お手元にその一覧を配付してあるので、参考にご覧になっていただきたいと思う。

鮎川委員長　　何かご質問あるか。よろしいか。
ほかに報告事項はあるか。

高橋指導室長補佐　　平成２８年度市立中学校使用教科用図書の展示場所の変更について、報告する。５月１２日の教育委員会において、平成２８年度市立中学校使用教科書の展示場所を小金井市教職員研修センターと貫井北センター図書分室と報告したが、小金井市教職員研修センターを小金井市立図書館本館に変更する。
変更した理由は、開館時間が長く、土曜日や日曜日に開館している図書館本館に展示するほうがより多くの市民の方に教科書を見ていただけると判断したからである。なお、６月１日発行の市報にも変更後の小金井市立図書館本館と貫井北センター図書分室の２カ所で展示することが掲載される予定である。
報告は以上である。

鮎川委員長　　何かご質問あるか。よろしいか。
昨年度は図書館本館に展示されていたので、本年度も図書館に展

示されることは安心である。

高橋指導室長補佐　展示期間は６月１日から７月３日である。

鮎川委員長　ほかに学校教育部から報告はあるか。

川合学校教育部長　ない。以上である。

鮎川委員長　では、生涯学習部から報告事項があれば報告願う。

西田生涯学習部長　生涯学習課長と公民館長からそれぞれご報告させていただく。

石原生涯学習課長　小金井チャレンジデー２０１５がいよいよ明日に迫った。明日のイベント一覧を配付させていただいたので、時間があるときにご見学などいただきたい。よろしくお願いする。

もう一点、文化財関係のご報告だが、今年度、貫井南町にある閻魔堂木造閻魔王坐像を民間管理者が市の補助金を活用して修理する。

明日、像の魂を抜く儀式の後、修理場所へ移設をして、今年度末までの修繕に入るので、貫井南町での公開については今年度できなくなるという形である。

報告は以上である。

鮎川委員長　何かご質問あるか。

山本教育長　今の報告で魂を抜くというのはどういうふうにやるのか。

石原生涯学習課長　お寺の住職さんにお願いをして、抜魂の儀という、魂を抜く儀式のもとで、魂をきちっとそこの場に残した上で、修理場所へ像が移るという、そういう意図を持って行われるものである。

山本教育長　わかった。

鮎川委員長　　お仏壇等も修理する前にお経をあげるなど、そのような感じだろうか。

西田生涯学習部長　そうである。

鮎川委員長　　ありがとう。

石原生涯学習課長　仏像関係を修理とか、あるいは博物館に移したりとかするときは、そういう儀式は必ずつきものだそうである。

西田生涯学習部長　一応、魂が入っていることに宗教上なっているから、それを入れたままいじるとか動かすということはあり得ない話である。ですから、そういうことは必ずやる。

鮎川委員長　　ほかにご質問あるか。よろしいか。

明日のチャレンジデーに向けて私たちも頑張って１５分以上運動するので、よろしくお願いする。

前島公民館長　図書館と公民館業務の見直しについて、ご報告させていただく。

東センターについては、８月のＮＰＯ法人による運営委託を目指して、現在、ＮＰＯ法人との意思疎通を図っているところである。

また、毎月１回以上、東センター利用者との懇談会も開催しているところであり、丁寧な説明を重ねているところである。

また、公民館運営審議会の東センターの委託についての答申の中で、貫井北センターの１年間の評価についても、既に図書館、公民館とも公運審、あるいは図書館協議会のご協力を得て実施し、最終的なまとめに入っているところである。

公民館運営審議会、図書館協議会の答申を尊重し、ＮＰＯとの合意、議会の理解を得られるまでということで予算執行停止を議会からも求められているが、鋭意解決に向け努めているところである。

本日はこの程度のご報告となるが、適宜、進捗状況等についてはご報告させていただきたいと思っている。

以上である。

鮎川委員長　　何かご質問あるか。よろしいか。

まだ途中経過ということであるが、利用者との懇談会ではどのようなお話が出ているのか、簡単に教えてほしい。

前島公民館長　　特に心配されていることは、ＮＰＯ法人になったことで、今までの活動に制限が加えられてしまうのではないかという、変わってしまうことへの不安な面が多いと考えている。

それと、公民館の場合は、なかなかわかりにくいところもあって、市としては市民協働ということで、公民館の運営を進めていきたいという３次行革にも市民協働と公民連携ということがうたわれているので、そういった面からも公民館としては取り組んでいきたい、そういった市民協働の拡大を目指しているというご説明をさせていただいている。

次第に利用者の方も理解が進んできているという感触は得ているし、具体的な細かな内容についても、日ごろ使っている方のご意見としていただいているので、そういったものを今後の運営に生かしていければと感じている。

上石図書館長　　図書館から少しお話しさせていただく。

３月の議会以降、公民館ともども、３月は２回、４月は１回、５月は昨日と、計４回開催している。利用者の方は少ない人数だが、来られた方からのご質問としては、委託することによって変わってしまうのではないかという不安の声が少しあると感じている。

今まで直営館だったものが、今度はＮＰＯ法人に委託するということへの不安ではないかと思うので、貫井北センターでの活動等を数字的にもお示ししたりして、お話を進めているところである。ただ、来られる方は、昨日も５名と少なかったので、サービスが拡大するということについて反対のご意見はないと私は感じている。

来られた方は、今までの直営館のよさが続いていくのかとか、人が全部かわることによってサービスが変わってしまうのかなという不安があってのご意見と思っている。そんなところで、また来月もやりますということで、公民館と８月に向けて努力しているところである。

以上である。

前島公民館長　　補足させていただく。貫井北センターでのＮＰＯの事業とか、そういったものをご紹介させていただいている。そういった中で、東センターにあったような形で今後運営していきたいということを申し上げている。利用者の中には、やはり図書館と公民館の活性化が図られていく、例えばビブリオバトルとか、「KITAMACHIユース」の発行とか、そういったものを紹介していく中で、より活発になることはいいのではないか、何も反対する理由はないというご意見までいただいている。

鮎川委員長　　利用者の方々の不安な点を丁寧にお聞きいただいて、そしてその不安を解消するような形で説明をいただいているということで安心する。懇談の場はとてもよい機会だと思うので、お忙しいことと思うが、よろしくお願いする。

鮎川委員長　　次に、２の今後の日程について報告を。

中島庶務係長　　平成２７年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会が、今週５月２９日金曜日、新潟県長岡市長岡市立劇場で行われる。鮎川委員長と福元委員長職務代理者のご出席をお願いする。

続いて、平成２７年第７回教育委員会定例会が７月１４日火曜日、８０１会議室で行われる。全委員のご出席をお願いする。

続いて、平成２７年第８回教育委員会定例会が７月２８日火曜日、市役所本庁舎３階の第一会議室で行われる。全委員のご出席をお願いする。

続いて、東京都市町村教育委員会連合会第２回理事会第１回理事研修会が８月２７日木曜日に予定されている。場所は東京自治会館の大会議室となっている。鮎川委員長のご出席をお願いする。

向こう３カ月の予定は以上となる。よろしくお願いする。

鮎川委員長　　それでは、以上で報告事項を終了する。

山本教育長　　今、議事が一段落ついたが、今年度、教育委員の先生方におかれては、各学校の学校運営連絡会に傍聴されて学校の状況を把握されていると伺っているので、ここで、これまで回った学校の状況につ

いてのお話を伺えればと思うが、いかがか。

鮎川委員長　皆様、よろしいか。では、福元委員長職務代理者からお願いする。

福元委員長職務代理者　それほどたくさんの学校を回ったわけではないが、４校ほど訪問させていただいた。小学校３校、中学校１校。４校に共通して、感じたことを申し上げる。一つは、地域の人や保護者が学校を温かく支えてくれているということである。

小金井市は以前から、地域の人や保護者が学校を支える雰囲気というのはあった。それが今回、訪問してみて、さらに、地域の人や保護者が、自分たちの学校と受け止めて、温かく支えてくれているのを感じた。

また、委員でない方が傍聴に来られて、様子を見て行かれたというのもあった。市民の皆さんが学校を支えてくれていると強く感じているところである。

もう一つは、指導室を中心に事務局が取り組んでくれている学校への支援や指導のおかげもあって、市教委の方針が、学校によく浸透しているなと感じたことである。

特に教員の授業力の向上や、子供の心身のサポートなどは、今年度、重点的に支援してもらっている部分だと思う。

それが学校によく浸透しているのを感じて、大変心強く思った。

市教委の方針を踏まえた学校経営方針を校長先生、副校長先生が自信をもって説明していた。もちろん自分の学校のことだから、学校の実態をしっかり押さえて、それを前面に出しながら、保護者の質問、不安等に対して丁寧に答えていた。自信をもって学校経営に当たっている様子が感じられた。市教委と各学校との連携がうまく進んでいると感じた。今回の訪問でそんな感想を持った。

渡邉委員　私は、南小と二中の２校を見させていただいた。基本的に学校は勉強を教えるだけの場所だとずっと私は思っていたが、初めてこういう運営連絡会というのか、会社でいうと、経営方針とか、社長の方針、１年間の売り上げがどのぐらいとか、利益がどのぐらいとか、社員がどのぐらい出ているとか、そういったことに匹敵するようなことを学校でやっているということで、まず驚いた。

それをサポートする人たちも非常に多くて、私がお話しした人は

１０年以上されているとのこと。そして、たまたま私、帰り際、その人を自転車で追い抜いたが、すぐ近くの方だった。日常接するようなところに住んでいる方ということで、そういった方が大勢、その学校を支えているということで、まず驚いた。

そして、もう一つが、算数で勉強したことを体育の授業に応用する。人数割りとか。そうすると、算数はあんまり得意ではないけど、体育で人を何人ずつ分けるとか、そういったことで算数が得意になる。そういう教え方をしている。ですから１つの教科だけでなくいろいろミックスした考え方。ほかの部分もあると思うが、そういったこともおっしゃっていた。

それから、定着したということで、挨拶の部分を削除しようという話があったが、委員の方が、やっぱり挨拶というのは基本なので、省かないで徹底してほしいということ。これは校長先生と委員会の方が協力し合ったものでなされているということ、一方通行でなく双方向の協力のもとになされるということ。

それから、二中の校長先生は新しくいらっしゃったが、今までの４校か５校の校長の経験を全部まとめたもののノウハウを配っていまして、それは会社として見た場合でも、ノウハウの詰まったエキスをいただけるということで、今後楽しみではないかと思う。

あと、保健の話だが、保健室に来る生徒さんは、楽しい授業がある場合はあんまり来ないと言っていた。そうでないときは、結構出入りするらしい。ですから、心理的なもので、保健室に来ていれば楽しい授業は受けられないから、そういったことも体験的にあるのではないかと思った。雑駁だが、以上である。

岡村委員　私は、三小と本町小学校に訪問した。いつも学校の方針とかは読んでいるが、こういう書類として、校長先生に直接、経営方針などを、それをお聞きしてよく理解できた。

ちゃんと、学校は経営方針として先生方と協力したり、先生方の向上を目指したり、全体で活動しているということがよくわかった。

それで、両校とも話題になったのが、やはり特別支援教育の視点での教育の必要性ということであった。

なかなか、じっとしていない子供たちが増えてきて、その子たちの授業をどうやっていくかということが学校の課題になっていて、視覚に訴えるとか、校長先生たちがいろいろ工夫して、教員の先生

たちと協力していろいろやっていらっしゃることが、最近の課題に両校ともなっていると思った。

それと、福元先生がおっしゃったことと逆方向というか、やはり地域の人たちにとっても学校の存在はすごく必要というか、例えば、三小で強調されていたのは、子供と両親２人の狭い世界になりがちなので、おやじの会とか、ＰＴＡ会とか、子供会とかに出て、核家族にしないように一生懸命努力するために、地域が頑張っている。

その為にＰＴＡ、子供会とかの雑務等を減らしたり、みんなが気軽に参加できるように企画していこうとされている。

また、ボランティアカードももう少し利用し、地域に参加できるようにしたり、ＰＲしたりしてほしいし配ってほしいとか、カンガルーのポケットを充実したいとか、課題として挙げられていたので、それもまた皆さんとお話しして知恵を借りて、なるべく意見を聞いていきたいと思う。まだ２校しか行っていないが、教育委員として非常に勉強になった。

鮎川委員長　山本教育長は私たち教育委員の学校運営連絡会訪問をお考えくださったが、先生方のお話を聞いていかがか。

山本教育長　学校の実情を委員の先生方が知っていただいて、それをもとに我々事務局のほうにどんどん意見、要望を積極的に出していただければと思うので、今後もよろしくお願いする。

鮎川委員長　私も３校訪問させていただいて、大変勉強になった。

これからもどんどん見学させていただいて、勉強を続けていきたいと思う。

次に、日程第３及び日程第４の２件を順次議題とするが、人事に関する議案である。委員長は、本案は小金井市教育委員会会議規則第１０条第１校に規定する事件に該当するため、非公開の会議が相当と判断するが、委員の皆様、異議はないか。

（委員一同異議なしの声）

鮎川委員長　全員異議なしと認め、秘密会を開会する。

準備のため、休憩する。

休憩　午後１時５６分

再開　午後２時００分

鮎川委員長　　　再開する。

本日の審議は全て終了した。これをもって平成２７年第６回教育委員会定例会を閉会する。

お疲れさま。

閉会　午後２時００分